

11月23日に日高体育協会からの依頼で部活動指導の経験から「スポーツを通して子供を育てる」というテーマで講演をさせていただきました。



それぞれの種目の協会の方々をはじめ、保護者、教員、指導者と50名以上の参加者がおられました。後半はパネルディスカッションを実施し、質問を受けながらの話になりましたが、皆さんメモを取りながら聞いていただき、とても良い時間を過ごすことができました。指導者として私が気を付けてきたことは、①生徒との

コミュニケーションの取り方(特に試合に出る機会の少ない生徒に対して)②保護者との関係について(生徒理解を共有するために部報(試合結果の報告だけでなく部員全員で共通理解する記録)の作成、保護者会の開催)③生徒の力の見抜き方(何に向いているか、得意な部分を伸ばすにはどうするか、苦手克服のモチベーションのあげ方)④部活動が生活にもたらすもの(縦のつながりを作っていく、相手のことを考える)⑤顧問としての言動に気を付ける(体罰、暴言をしないことはもちろん声のかけ方にも配慮)といったことです。この内容を、阪神淡路大震災を通して感じたこと、支えになったこと、生徒を支えるために考えたことなどを話の中心として約1時間話をさせていただきました。中学、高校の部活動は休みの日や一日の活動時間をスポーツ庁が決めしており、生徒の活動欲求を十分に満たせていない部分も出てきていることから、帰宅後に地域のクラブに通う生徒もいることからそのクラブの代表者からは、声のかけ方やモチベーションの保ち方、学校の部活動との関係など悩んでおられる様子が伝わってきました。今後、社会体育に任せられる部分が増えてくるのであればそういった課題も解決していかなければならないと感じた次第です。貴重な機会をいただき、いろいろと考えさせられました。



生活科学科は、前号でお伝えしたように多くの活動に出かけたようですが、さらに24日の神戸新聞北播版に東条川疏水について考えるワークショップについての記事があり、岡本さん、吉田さんの発表の様子が写真で掲載されました。また、「地方創生☆政策アイデアコンテスト」は、近畿地区で表彰を受けた後、全国での発表の機会も得ることができたようで、12月に東京であります。最高の賞は地方創生大臣賞をいただけるそうです。本校の取組が形になってきていることを行政機関含め認めていただけているようで、生徒たちはこれを契機にさらに発展させていこうとしてくれています。11月26日には近畿経済産業局長賞授賞式の様子が神戸新聞ひょうご経済版に掲載されていました(写真右)。いつも写真掲載され、本校の活動を見守っていただいているのがよく伝わってきます。本当にありがたい限りです。今後ともよろしく願います。



11月25日は体育科3年生がゴルフ実習にマダムJゴルフクラブに出かけました。私は始球式を行うことになっ



っており、午前中だけ一緒にプレーさせていただきました。毎週木曜日に打ちっ放し練習場に出かけているだけあ

って、センスはよく、力強さも感じさせられました。とても落ち着いて回っており、スコアもマナーもよくプレーできていたように思います。天気も雨も降らず丁度良い感じで紅葉の中、ゴルフを満喫できたようです。生き生きと思い切りの良いプレーをしている生徒たちを見て、とても元気をもらいました。月曜日でゴルフ場が休みの日を利用させていただいたのですが、このような経験は本当にありがたく、この場をお借りしてゴルフ場関係者の皆様にお礼を

申し上げます。本当にありがとうございました。

そして、25日より期末考査 1 週間前。2 学期まとめの時期になりました。体育祭に始まった 2 学期も生徒の皆さんはそれぞれの目標に向かって走ってきてくれましたが、学習の方はいったんまとめになります。学習したことをしっかりと整理して、考査に臨んでください。考査後は午前中授業になりますが、その中には 12 月 10 日生徒指導講演会(SNS関連)、11 日東京オリンピックパラリンピック講演会(プロスノーボーダーの講演)と続き、12 日 1 年職業別懇談会、13 日 2 年進路ガイダンス、16 日 1 年校外美化活動(PTAと一緒に)、17 日から 19 日まで 2 年医療看護類型のインターンシップといった学年行事も含まれます。2 年生は特に修学旅行に向けた準備も加速してくるでしょう。そして周りもなぜか年末の慌ただしい時期に向かいます。寒さも厳しさが増してきます。こんな時こそしっかりと足を地に着けて、生活面では体調管理に気を付けて令和元年のまとめをしてください。気持ちよく令和 2 年が迎えられるように。